

～ 新 生 ～



社会医療法人財団 白十字会

白十字リハビリテーション病院

病 院 案 内

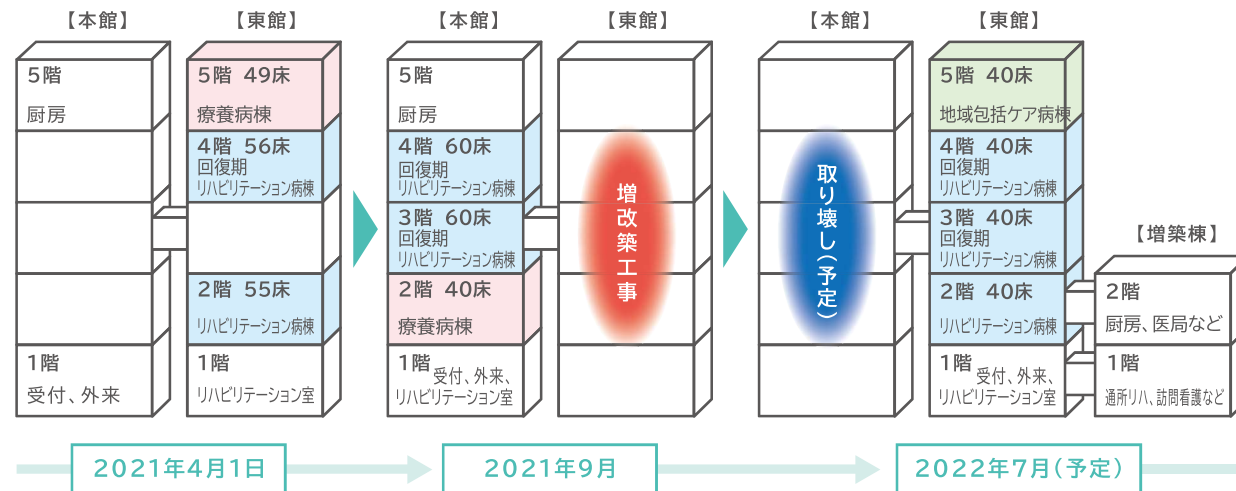


患者さんに寄り添うリハビリテーション

白十字リハビリテーション病院

病棟再編・増改築計画 PLAN

白十字リハビリテーション病院は2022年7月のリニューアルオープンに向けて増改築工事をおこないます。



お問合せ CONTACT



～転院受入の相談は私たちがお受けします～

理学療法士をはじめ、専任のスタッフが転院受入の対応をいたします。診療情報提供書・ADL情報・検査データ等を事前に提供いただき、転院受入の検討をさせていただきます。入院後はソーシャルワーカーが担当し、患者さん一人一人に寄り添い、入院～退院まで安心して診療・リハビリをうけられるよう、また一日も早く社会復帰できるように努めます。転院・入院・在宅支援などの相談がございましたら下記までご連絡ください。

◆お問合せ・ご連絡◆

〒819-8611 福岡県福岡市西区石丸3-2-1

4月1日以降

TEL :092-891-2611 (代表)
:092-891-2622 (直通)

FAX :092-891-2633 (代表)・092-891-2677 (直通)

3月31日まで

TEL :092-891-2511 (代表)
FAX :092-881-4491 (代表)

平日 9:00～17:00 土曜 9:00～12:00



ACCESS



社会医療法人財団 白十字会

白十字リハビリテーション病院

<http://www.fukuoka.hakujujukai.or.jp>

白十字病院・白十字リハビリテーション病院に分院します

病院概要

- 開 院 日：2021年4月1日
- 名 称：白十字リハビリテーション病院
- 所 在 地：〒819-8611 福岡市西区石丸3丁目2-1
- 標榜診療科：リハビリテーション科、内科
- 病 床 数：160床（回復期：111床、療養：49床）
（2021年4月開院時）
- 施 設 基 準：回復期リハビリテーション病入院料 (I) 体制強化加算 (I)、療養病棟入院料 (I) 脳血管疾患等リハビリテーション料 (I) 運動器リハビリテーション料 (I) 廃用症候群リハビリテーション料 (I)
- 備 考：開院後、増改築工事予定

自立した生活、社会復帰への架け橋となる ハートフルリハビリテーション

◆ 夢中になれるリハビリテーション

単に体の機能が改善することだけがリハビリテーションの目的ではありません。その人らしい生活や生きがいを取り戻せることこそがリハビリテーションの最終ゴールです。退院後に「やりたいこと」「なりたい姿」を教えてください。きっとリハビリテーションに夢中になれるます。

◆ 前向きで活気に満ちた入院生活

日々積み重ねていくリハビリテーションが、そしてここで過ごす入院生活が、常に前向きで活気に満ちたものであってほしいと思います。自分でできることを取り戻す喜びを感じ、さらに新しいチャレンジをする。入院中のそんな毎日の経験が退院後の自信と心のよりどころになると私たちは考えています。

◆ “家に帰ってから”を見据えたリハビリテーション

退院後に多くの患者さんやご家族がお困りになるポイントを、しっかり身につけて退院していただければと思います。退院後にずっといい状態で過ごしていただくために、患者さんにご家族、そして病院が一体になってリハビリテーションを進めましょう。

◆ 地域の健康を育むまちづくり

地域包括ケアシステムの一員として、地域の介護事業所とも連携しながら退院後の患者さんが安心して暮らせるまちづくりに努めます。

◆ 職員にとってより良い職場であるために

職員がより良い高いレベルの医療技術を身につけるための生涯学習や、働きやすい環境づくりを積極的に支援します。

わたしたちが提供するチーム医療の取り組み

患者さんのニーズに最大限お応えし、入院中のみならず退院後も安全で健やかな生活を送って頂くために、白十字リハビリテーション病院では様々な活動を行います。

医師

リーダーとしてチーム医療を推進していくとともに、基礎疾患や合併症の医学的管理とリスク管理を的確に行いつつ、患者・家族に進んでわかりやすく説明し、十分な同意に基づく医療に取り組み、社会復帰を支援します。

看護師

二次的合併症を予防し、安全対策を徹底し、可能な限り抑制は止める取り組みをしています。また、他職種と情報の共有化の推進、リハ技術を習得し看護ケアに生かし「できるADL」を「しているADL」に反映していきます。

栄養管理士

口から食べることを推進し、適切な嚥下食の提供を行います。また、栄養状態の評価を行い、全身状態の改善及びリハビリテーション効果の向上につなげ、食事に対する不安解消や地域・施設との充分な連携に努めます。

社会福祉士

患者さん・ご家族の相談にのりながら、患者さんの自己決定に基づいた退院援助をするとともに、常に最新の社会資源の情報収集・提供に努め、地域との窓口になるよう支援致します。

言語聴覚士

コミュニケーション機能の改善による意思疎通の向上、高次脳機能障害の評価と介入、その人らしい食のあり方を提案し、安全で安心な食事のあり方の提示等に努め、社会参加につなげていきます。

理学療法士

筋力、関節可動性、姿勢バランスなどの運動機能の回復、社会生活に必要な体力の向上を図り、実際の基本動作を高め、ADLの自立に向けて運動療法、物理療法などを駆使したリハビリテーションを提供します。

薬剤師

「薬の専門家」として、患者さんに安全な薬の提供ができるよう、チームで協働して服薬指導や情報提供を行います。

介護福祉士

生活支援の専門職として患者の気持ちに寄り添うケアを、患者の一人一人の価値観を尊重しながら援助し、「しているADL」から「したいADL」へ生活範囲を拡大していきます。

作業療法士

ADL・IADLの実施状況を評価・介入し、生活機能向上につなげるとともに、認知・行為、心理的側面を包括的に捉え、その人らしい生活の実現、地域生活の拡大・充実(再建)に向けて個別性のある支援を行います。



病院長ごあいさつ

白十字病院は急性期・回復期、療養病棟が一緒になったケアミックス病院でしたが、2021年4月に急性期病院とリハビリテーション病院に分院して再出発することになりました。白十字リハビリテーション病院は、しばらく現在の病院を使用し、秋より増改築を行い、来年度に新病院としてリフレッシュする予定です。最終的には回復期120床、療養病床は地域包括ケア病棟40床に徐々に移行し、計160床のリハビリテーション病院となります。

患者さんを家族と思い、地域に根ざし・信頼され・必要とされる病院となるように、これまで以上に理学・作業・言語療法士、社会・介護福祉士、管理栄養士、看護師と共にチーム医療で、365日休まず、患者さんに寄り添い、機能障害をできる限り回復させ、生活再建に向けて1日でも早く復帰できるよう邁進いたします。また、退院後も訪問・通所リハビリテーションを充実させ、機能・体力維持を図り、困ったら近隣の在宅の先生方と連携して、地域包括ケア病床で短期間入院での集中した医療・リハビリテーションを提供したいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



病院長 阪元 政三郎

【専門医・認定医】
日本脳神経外科学会代議員・専門医
日本脳卒中学会専門医
臨床研修指導医
福岡脳卒中連携セミナー世話人
福岡脳卒中救命セミナー世話人
福岡大学臨床教授

私たち独自の取り組みのご紹介

タカレクリエーション

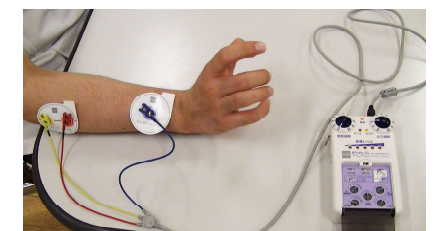
回復期リハビリテーション病院に入院していても、セラピストと一緒にリハビリに取り組む時間は一日合計2～3時間ほど。リハビリ以外の時間にも有意義にお過ごしいただくための取り組みとしてレクリエーションを実施しております。退院後にも活用できるノルディックウォークやコグニサイズ、脳トレなど様々な活動を実施しております。このような活動を通じて退院後の生活支援、自助力向上等に繋がることを目的に個別のリハビリテーション以外の時間も有効に活用しております。

排泄プロジェクト

入院患者さんの在宅復帰にあたり、「排泄能力」は重要なポイントと考え、患者さんやご家族と排泄に関する目標を共有できる「排泄目標達成シート」を作成し、効果的なアプローチを実践しています。具体的には、リハビリスタッフ、看護師で構成したチームで活動を行い。在宅で自立して排泄ができるよう、排泄に関する目標設定、自主訓練の指導を強化して行い、退院後の生活につながるよう援助しています。

効率的なリハビリテーション

患者さんに応じて、ロボット機器や電気刺激療法を用いたリハビリテーションを提供しています。その他、脳卒中治療ガイドラインに推奨されている、「促進回復療法」や「課題指向型訓練」も積極的に実施し、職員教育も進めております。新しいリハビリテーション機器や技術を導入し、可能な限り、早期に目標を達成できるような体制を構築しております。



◎手や腕の機能回復の訓練